

施策分析シート（平成24年度）

No1

施策名	交通安全対策の推進			施策No	11-06		部課名	防災都市づくり部土木管理課		
							課長名	齊藤	内線	2710
関連部課名	防災都市づくり部道路課									
行政評価事業体系	分野	安全安心都市[VI]								
	政策	防災・防犯のまちづくり[11]								
目的	区内警察・交通安全協会・民間団体等が連携・協力体制のもとに、強力かつ効果的な交通安全運動を広く展開し、交通ルールの遵守・マナーの向上を図りつつ、交通事故や交通公害のない安全で安心して住める街荒川を築いていく。									
指標	施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明		
			21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (28年度)			
	①	交通事故件数	584	561	502	500	360	交通安全運動を積極的に実施し、交通事故を減少させる		
	②	自転車交通事故件数(内数)	353	323	276	250	180	交通安全運動を積極的に実施し、交通事故を減少させる		
	③	交通安全運動参加者(人)	3,500	3,500	3,500	3,500	4,000	交通ルール・マナーの向上、そして啓発活動の充実		
	④	自転車免許講習会参加者(人)	933	1,072	917	1,200	2,000	自転車免許講習会参加者の拡大を図る(現在累計約10,255人)		
	⑤									
現状と課題 (指標分析)	●自転車事故は横ばいであるが、交通事故に占める自転車事故が高くなっている。 ●交通安全運動の中心的役割を担っている交通安全協会の活性化と組織拡大が必要である。 ●「スピード出しすぎ」、「子どもを乗せ携帯電話している」、「一時停止不履行」、「傘を差しながらの運転」等のルール・マナー違反の自転車利用者が増大している。 ●高齢者の事故を防止する必要がある。 ●自転車運転免許証講習会への参加者を拡大する。特に高齢者、女性の参加を促進していく必要がある。									
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 ●課題解決のため、引き続き交通ルール・マナーの遵守を徹底するための交通安全啓発活動を充実させていく。また、区・警察・交通安全協会・各関係機関・区民が一体となった幅広い交通安全運動を展開していく。 ●さらに、より効果的な交通安全施策等について交通安全協議会の中で審議し、その成果を交通安全施策に反映すると共に、道路の安全機能の整備充実を図り交通事故の防止に努めていく。									

施策の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
推進	推進	悲惨な交通事故をなくし、安全な街を実現するため、今後も継続して推進する。

施策分析シート（平成24年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		22年度	23年度	24年度 設 定	25年度 設 定	
交通安全対策協議会 運営費	09-05-02	219	244	推進	推進	交通安全に関する総合的施策を審議する重要な協議会
交通安全協会補助	09-05-03	3,920	3,920	推進	推進	活動の中心的役割を果たしており、益々の活動が望まれる。
交通安全啓発費	09-05-04	4,920	4,332	推進	推進	常に、区民に対してルール・マナーの遵守を訴えていく。
荷さばき駐車場設置費	09-05-13	3,005	2,587	推進	改善・ 見直し	民間の荷さばき駐車場の利用率が低い箇所について廃止を検討する。
交通安全施設整備費	09-06-08	11,445	18,215	継続	継続	区民の交通安全を確保するための整備費（すべり止め舗装、区画線標示、通学路標示）である。
交通安全資材	09-06-09	341	1,607	継続	継続	道路交通安全確保のための資材費（カーブミラー・防護柵・標識等）である。
合 計		23,850	30,905			